

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 小原 得雄 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷(株)

次年度副会長決定!

強力・協力・教力なメンバー結集!!

「思いやり」と「ネットワーク」で中央会をリード
3月16日の臨時総会で、宮廻次年度会長推薦による5名の副会長が満場一致で承認された。再任の堀田副会長を始め新副会長の更なる活躍を期待したい。



樋口 一夫氏 入会平成5年 森尾・柴谷氏推薦

平成6年度 労務副委員長
平成7年度 広報委員長
平成8年度 県理事
平成9年度 21地球副委員長

一見温厚だが実は情熱的なラグーマン。バランス感覚のよさでパイプ役となる。

堀田 収氏 入会昭和61年 小林(政)・川本氏推薦

平成8年度 指導力開発委員長
平成9年度 副会長

性善説に裏付けられた気配りは超一級。コーディネーターとしての手腕が期待される。



野嶋 功氏 入会昭和59年 内海・堀尾(敏)氏推薦

昭和60年度 総務副委員長
平成3年度 総務委員長
平成5年度 県理事
平成9年度 監事

中央会の生き字引。学生新聞の記者としてはぐくんだ洞察力で会長を補佐する。

市位 清明氏 入会平成5年 上杉・木村(幸)氏推薦

平成6年度 総務副委員長
平成7年度 総務委員長
平成8年度 県理事

衝撃的なデビューを果たし中央会に風穴を開けた男。周りを巻き込む求心力で執行部を盛り上げる。

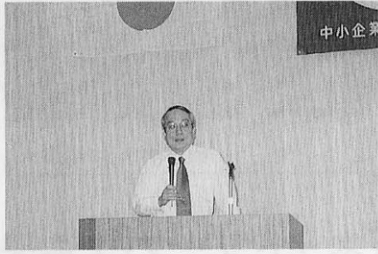


中津尾 直己氏 入会昭和60年 足立(統)・亀井氏推薦

平成2年度 広報副委員長
平成7年度 経営投資委員長
平成8年度 県理事

中央会のプリンス。節目節目に常に係わったキーパーソン。会長を陰日向に支える。

3月例会報告



3月例会は16日ホテルサンルート米子において103名の出席の中おこなわれた。2月に続き100名超の開催となった。小原会長挨拶の後、臨時総会に移り宮廻次年度会長より副会長5名の推薦があり満場一致で議決された。(詳報1面) 登壇した5会員は緊張の面持ちながら決意と抱負を述べ、会員は期待と祝福の拍手で応えた。

続いて倉敷、田中、松井、岩崎4名の新入会員の紹介があり小原会長より名簿とバッジを授与した。現会員はこれで137名となった。今や名物コーナーとなった委員会タイムは情報メディア委員会の担当で、波多野会員による当会インターネットホームページの紹介をおこなった。内容は「会長挨拶」「会の概要」「歩み」「活動報告」「会員紹介」に分かれ、ひとつひとつをスクリーンで紹介していった。最後は波多野会員の「あけぼの幼稚園」

ホームページの紹介があり園歌のメロディーが流れた時は驚いた会員も多かった。東部青年中央会もホームページを開設し、西部青年中央会も先輩としてページの益々の充実をはかりたいものである。

今回の講演は18期ご卒業の東亜青果(株)社長秦野一憲OBによる「生活圏とネットワーク」であった。秦野氏は自ら係わる中海TVの設立経緯に触れ「中央会メンバーが地元で作った情報サービス会社」と位置づけた後、地域交流における情報ネットワークの捉え方について述べられた。氏はまず米国における通信産業の将来についての予測、また我が国における情報通信サービスの動向を述べられた。

そして地域の活性をはかるには、情報の充実によるコミュニティの確立が地域社会の横の連携を生む事を指摘。更に絶え間ない情報の発信が行政を越えた隣接地域を巻き込んだ文化の共有につながると結ばれた。情報(文化)の共有と経済の交流が人的ネットワークを生み、行政の垣根を越えるということである。

最後に我々現役会員へのメッセージとして「青年中央会と名乗る以上大胆な提案と、一つのテーマに継続した活動をしてほしい」とエールを送られた。



副委員長会議

某月某日、とある高級料亭S二階奥座敷にて、各委員会の副委員長だけが密かに集まって会合が開かれた。委員会運営の補佐役として半年が過ぎ、それぞれが失敗談、反省、裏話等を語りあった。

委員会運営に関しては、委員長が何もかも抱え込まずに、副委員長や各会員に指示してもらった方がよいという意見があった。それに対し委員長経験者でもあるH氏は、それも委員長としての「カラー」であり自分が委員長になった時の参考にすればよい、と助言した。そして委員長としての充実感、達成感には実に素晴らしいものだ、と、滔々と語り、委員長指名を固辞することのない様に暗に根回しをされた。

また4月の恒例家族例会については、普段の埋め合わせという意味もあってか会員本人また家族にとっても概ね好評で、毎年楽しみにしているということだった。奥さん同

士のネットワークもこれをきっかけにできることが多いが、そのお陰で墓穴を掘る会員も少なくないとか…。そのほか、例会の在り方、委員会タイム、現在進行中の会則・規約改正と話は次々広がっていった。

理事も経験していない面々だったが副委員長という良い経験をしてきた。要は一人一人がどれだけ『中央会』を楽しむことができるか、に尽きるといって長い夜に終止符を打った。残念ながら9委員会のうち3名欠席の6名で行われたが、2次会に場所替えをすることもなく腰を落ち着いたまま日付が変わるまで盛り上がった。それでも話はエンドレス、今年度中に再度集まることを約束してお開きとなった。前年度も副委員長サミットはあったようだが、来年度以降も続けてほしいものである。



3月度委員会報告

政治行政委員会

平成10年3月4日(水) 於:米子食品会館 出席者/11名
内容/講演

「米子崎津地区開発問題について」

米子市議会議員 八幡 美博氏

- 上記について資料をいただき説明を受けた。
- JRAウインズの誘致・反対(建設的代替案)を始めて聞いたが、時期遅しと本音を聞く。
- 今までは、賛成・反対の意見だったが今回初めて代替案を聞き、行政の情報公開の遅さで、代替案も埋もれているようであった。
- 開発問題の当事者である崎津地区開発公社の組織・権限についても今一つ疑問を抱いた。
- 今後の進展にあきらめの雰囲気漂っているようです。

社会プロブレム委員会

平成10年3月11日(水) 於:米子食品会館 出席者/7名
内容/講師 IFプランニング代表 釜江 聖女さん

最初に心理テストをひとつ。あなたは、長い旅に出ています。お連れは牛、馬、羊、猿、虎の5匹です。しかし途中、やむおえず一匹ずつ、おいていかなければならなくなりました。さあ、あなたのおいていく(捨てていく)順番はいかに?(※答はメンバーまで)

女性の立場で、女性の職場復帰、職安の問題点(適性を判断しない)、職場の人間関係、家庭の問題(不登校など)と広範囲にわたる、いろいろなお話を伺い、一同納得することしきりでありました。そして、男性は「～ねばならない」という脅迫観念からときはなされる必要があると説かれた。

自分自身も転職、帰省で友人の言葉で肩の力をぬいて楽になれた。しかし、終わったあと、女性のお話を伺ったという気がしないのは、なぜなんだろう?

地域ビジョン委員会

平成10年3月10日(火) 於:米子食品会館 出席者/8名
内容/合併問題についてのシュミレーションの作成

米子市と境港市から収集したデータを基礎資料として、シュミレーションの作成に取りかかる。また、委員会活動の仕上げとして5月ないし6月に東京の自治省を訪問し、合併についてのお話を伺う。

経営委員会

平成10年3月11日(水) 於:大連 出席者/10名
演題/講演

「成長0時代に成長するには合併しかない」

(株)ランドサイエンス代表取締役 遠藤 道紀氏

今回の講師は当会の第7期OBである遠藤社長に御多忙の身ながら来て頂いた。氏が先代から受継いだフジヤ農芸(株)は売上高一億円程の肥料卸売会社であったが、時代の流れに乗り遅れず生き残る為を考え、同業者との合併を実行し、現在の(株)ランドサイエンスは主に農協への卸売りで三十億の売上高をあげる県内屈指の肥料卸売会社となった。講演では合併の経過と当時の内輪話や合併時の難題、合併直後の問題と合併によるメリットを語っていただいた。又、自社の組織や人事等を例とした大切と思う経営ポイントやトップから公私混同しないなど経営理念をうかがい大変勉強させていただいた。

情報メディア委員会

平成10年3月9日(月) 於:米子食品会館 出席者/12名
内容/3月担当 例会の打ち合せ

- ・各人の役割分担 最終確認
- ・タイムスケジュールの確認
- ・事前準備の打ち合せ
- ・委員会タイムの打ち合せ

実際にホームページを見ながらの検討

金融委員会

平成10年3月24日(火) 於:ホテルサンルート米子 出席者/13名
内容/今回は、竹村健一氏が「これからの日本とその力量、盲点、大課題」

というテーマで講演しているビデオをもとにディスカッションをしました。同氏らしい切り口で現在の日本を厳しく評価しており、従来の常識をくつがえす提言をされていました。いろいろの意見が各会員から出されましたが、最終的には国民が一人ひとり、各自で勉強し自分で責任をとるという姿勢が必要であるということには反論が出ることはありませんでした。

広報委員会

平成10年3月3日(火) 於:米子食品会館 出席者/11名
内容/4月号～7月号ハンサム打ち合わせ

総務委員会

平成10年3月10日(火) 於:ホールサムインかいけ 出席者/15名
内容/・小原会長をお迎えして、会則・規約改正について
・4月レクリエーション例会についての打ち合せ

21地球委員会

平成10年3月9日(月) 於:米子食品会館 出席者/10名
内容/2月担当例会の反省
4月レクリエーション例会打ち合せ

コピーをして名簿にお貼り下さい

お父さんの通信簿

岩田慎介
会員の巻

妻：恵美子さん

長女：祐美子ちゃん(小6)・次女：美智子ちゃん(小4)
三女：美賀子ちゃん(小2)・四女：美帆子ちゃん(2才)

*

今回は境港市花町の豪邸に住む岩田会員のお宅を訪問。玄関の三和土だけでも大型車が1台入りそうである。そしてジュディ・オング似の奥さんを筆頭に5人の美女のお出迎えを受け、思わず頬が緩む…。



Q：早速質問を。奥さんの出身地は？

妻：千葉県銚子です。東京で出会って20年、1年間の長距離恋愛の末結婚して15年目です。

慎：嫁姑に関しては自分の母親の肩を持つ、それでもやっつけていける女だから妻として選んだのだ、と結婚当初に宣言した。(きっぱり)

妻：わたしも慎ちゃんの悪口をいっぱいお義母さんに言うんです。

Q：困ったクセは？

妻：酔っ払って子供の布団に入り込むこと。(堀田副会長より上手である)お気に入りの三女です。(上のふたりにはすでに敬遠されている)

Q：中央会に対して何か要望は？

妻：副会長していた頃は忙しくて家で夕飯食べるのは半分くらい。でもとってもいきいきしていました。

慎：うん週に1～2回は中央会に出ていたなァ(夫婦でやや数字が食い違う)

Q：子供の教育に関してはどうですか？

妻：時にはかわいそうなくらい厳しいです。

慎：『けじめ』がつくまでは許さん。(しかし話の最中も次々と子供たちはお父さんにじゃれつく)

まだ小さな子供さんがいるのに、その後つつい野球談義に花が咲き長居してしまったが、境港ならではの魚料理の数々を堪能させて頂いた。最後には向かいにある赤石商店のお土産まで頂き、岩田夫妻との会話を反芻しつつとっても幸せな気分で帰路に就いた。

聞いてごしない Part 11

バブル経済の狂気に近い好景気が去って、迎えた平成大不況。昨年来、超が幾つもつくような大型倒産が連続し、もうどこが倒れてもそんなに驚かないようになってきた。感覚が麻痺してきたのだろう。

そして、政治家、おねだり高級官僚、財界の癒着、何が出てきてもただ「またか…」としか思われなくなってきた。これも麻痺だ。

加えて、昨年の神戸で起きた少年の猟奇的殺人事件。そして、新年を迎えてきてからは、また少年達の凶器での事件が、連日といってよいほど報道されている。地元でも事件が起きたぐらいだから、もう都会の事件なんて呑気な事を言っている場合ではない。すべてが大きく狂い、修正の効かない状態になってきている。日本の中枢で、国家の大計をはかるべき者が金と色に走り、子供達に簡単にキレル。

アメリカ社会が、ベストだとは思わない、しかしアメリカの政治家の話には、家族・隣人に対する人間愛または信頼、社会正義といった非常に抽象的な内容がよく出てくる。

周知の通り、欧米は契約の社会である。約束という脆弱な土台の上に成り立っている国家だからこそ、指導者は殊更その重要性を強調するのだろう。

しかし、経済至上主義の日本の指導者の口からはなかなか聞かれない。彼らにとっては重要ではないのだろう。1億人以上の人間が肩を寄せ合って共生している日本。信頼、共同体意識以上に優先すべき価値観があるのだろうか。為政者はもっとモラルを尊ばなければならない。そして我々は、そんな為政者を求めるべきである。

教育問題は、子供の問題ではない。それを作り上げた私たち大人自身の問題である。事象には必ず、起結がある。結果あるところには、原因がある。何から始めようか。一人では何もできない。でも、麻痺したくない。とりあえず、掌中のグラスを干してから考えよう。 酔仙

連絡事項

会社変更

石指会員(政治・行政委員会)が
3月2日より下記のとおり変更になりました。

勤務先：(有)永田組

役職：統括部長/業種：総合建設業

会社住所：〒689-3533 米子市一部169-4

会社TEL. 27-1303 FAX. 27-1324

4月例会案内(レクリエーション例会)

と き 4月26日(日)雨天決行

※雨天時は上履用の運動靴を準備して下さい

ところ 緑水湖畔森林公園

西伯郡西伯町下中谷 TEL (0859) 66-5111

内 容 ウォークラリー・委員会対抗屍相撲ゲーム・ビンゴゲーム

当てクジ・屋台・ストラックアウトゲーム

昼食はバイキング

担 当 総務・21地球委員会

ご家族で多数ご参加下さい。

環境・資源を大切に!(ゴミを出さない為、各家庭で再利用出来る食器類をご持参下さい。)

4月役員会報告

4月定例役員会が平成10年4月1日(水)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通りです。

(1) 4、5月例会(臨時総会)開催の件

(2) 収支見込みの件

(3) その他

※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

編集後記

季節も春になり、いよいよ花粉が飛びかうようになり、くしゃみ・鼻水等大変な人もいますが、これらを乗り切ってがんばりましょう、お祈り申し上げます。(花満開)